

製品名: Frizzled-9 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab11150**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,ELISA
反応性	人間、ネズミ、サル
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	64kDa

抗原情報

遺伝子名	FZD9
別名	FZD9; FZD3; Frizzled-9; Fz-9; hFz9; FzE6; CD antigen CD349
遺伝子 ID	8326.0
SwissProt ID	O00144
免疫原	抗血清はヒト FZD9 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 542-591

背景

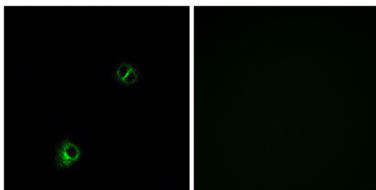
frizzled クラス受容体 9 (FZD9) ホモサピエンス [frizzled] 遺伝子ファミリーのメンバーは、Wnt シグナル伝達タンパク質の受容体である 7 つの膜貫通ドメインタンパク質をコードしています。FZD9 遺伝子は、7 番染色体のウィリアムズ症候群共通欠失領域内に

位置し、FZD9 遺伝子のヘテロ接合性欠失はウィリアムズ症候群の表現型に寄与する可能性があります。FZD9 は主に脳、精巣、眼、骨格筋、腎臓で発現しています。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]、注意：文献では最初に FZD3 として記載されました。、ドメイン：Lys-Thr-X-X-Trp モチーフは、Wnt/ β -カテニンシグナル伝達経路の活性化に関与しています。、ドメイン：FZ ドメインは Wnt リガンドとの結合に関与しています。、機能：Wnt タンパク質の受容体。 frizzled 受容体のほとんどは、 β -カテニンを介した標準的なシグナル伝達経路に結合しており、この経路は disheveled タンパク質の活性化、GSK-3 キナーゼの阻害、 β -カテニンの核内蓄積、そして Wnt 標的遺伝子の活性化につながります。PKC とカルシウムフラックスを介した 2 つ目のシグナル伝達経路が、ファミリーメンバーの一部で確認されていますが、PKC は Wnt を介した GSK-3 キナーゼの不活性化に必須であると考えられるため、これが独立した経路なのか、それとも標準的な経路に統合できるのかはまだ明らかではありません。どちらの経路も G タンパク質との相互作用を伴うようです。組織形態形成過程および / または分化組織において、極性情報の伝達および細胞間伝達に関与している可能性がある。、類似性：G タンパク質共役受容体 Fz/Smo ファミリーに属する。、類似性：1 つの FZ (frizzled) ドメインを含む。、組織特異性：成人および胎児の脳、精巣、眼、骨格筋、腎臓で主に発現する。膵臓、甲状腺、副腎皮質、小腸、胃でも中等度の発現を示す。胎児の肝臓および腎臓でも検出される。、

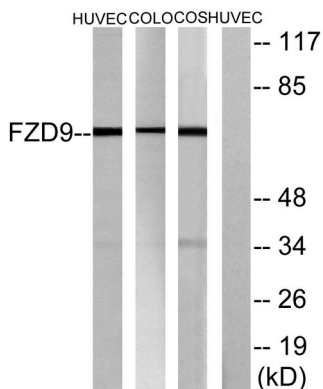
研究分野

WNT、WNT-T 細胞、メラニン生成、がんの経路、大腸がん、基底細胞がん

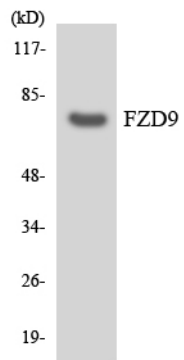
画像データ



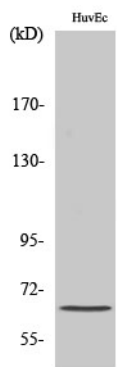
FZD9 抗体を用いた A549 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。



FZD9 抗体を用いた HUVEC、COLO、COS 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



FZD9 抗体を使用した Jurkat 細胞の溶解物のウェスタン ブロット分析。



Frizzled-9 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット分析